

1.1 市民ニーズの把握

(1) 市民アンケート調査の概要

1) 目的

市民の日岡山公園及び、その周辺に対する認知度や利用実態、課題等を把握し、施策検討の基礎資料として活用することを目的に、市民アンケート調査を実施しました。

2) 対象者・回収率

無作為に抽出した市内に在住する 18 歳以上の市民 3,000 人

回収率：37.8% (1,133 人)

3) 調査時期

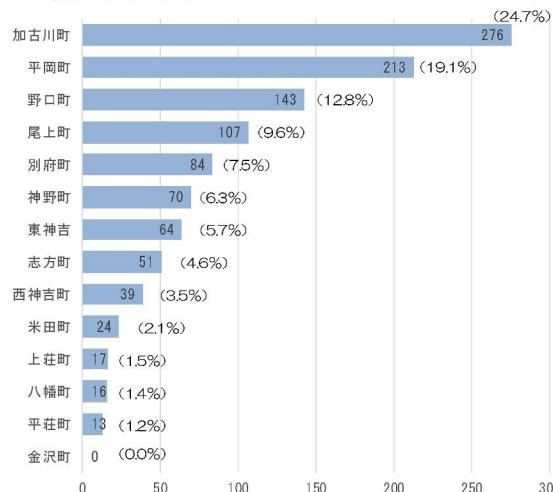
平成 28 年 10 月 14 日（金）～ 10 月 31 日（月）

(2) 主な集計結果

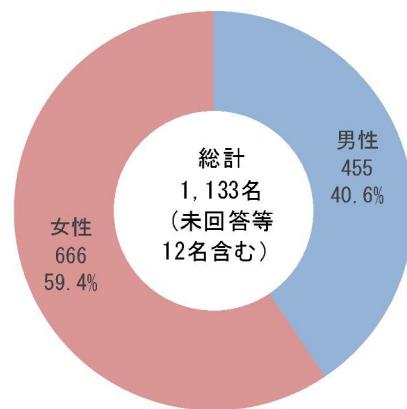
市民アンケート調査を実施して得られた主な集計結果は、以下のとおりです。なお、詳細な集計結果は参考資料に掲載しています。

1) 個人の属性

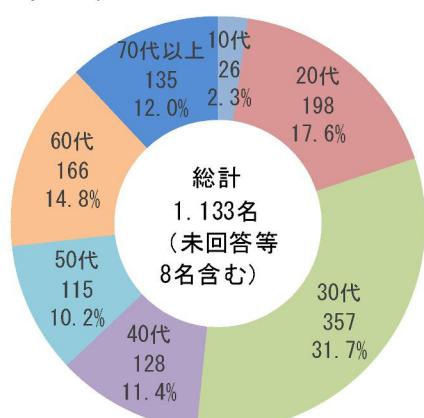
図表. 居住地



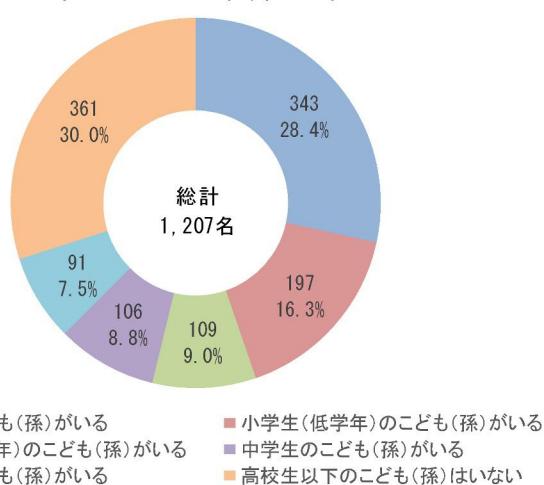
図表. 性別



図表. 年齢



図表. こども（孫）の有無



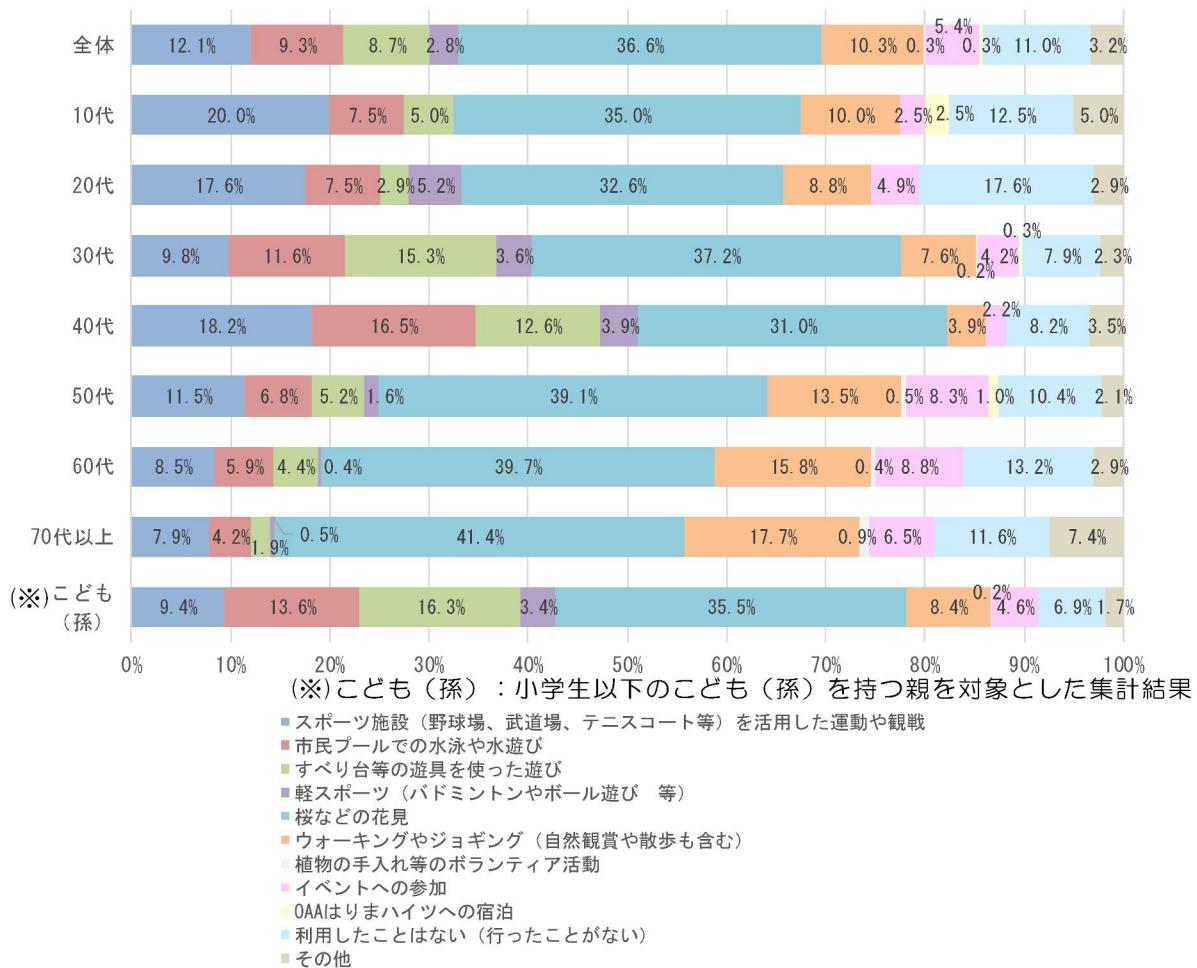
- 就学前のこども（孫）がいる
- 小学生（低学年）のこども（孫）がいる
- 中学生のこども（孫）がいる
- 高校生のこども（孫）がいる
- 高校生以下のこども（孫）はない

2) 日岡山公園

利用目的の大半が「桜などの花見」

- 日岡山公園の主な利用目的は、「桜などの花見（36.6%）」「スポーツ施設を活用した運動や観戦（12.1%）」「ウォーキングやジョギング（10.3%）」です。一方、「利用したことではない（行ったことがない）」と回答された方の割合も多く、全回答の11.0%を占めます。
- 「すべり台等の遊具を使った遊び」に着目すると、30代の利用が他の世代より高い（60.4%）ことがわかります。

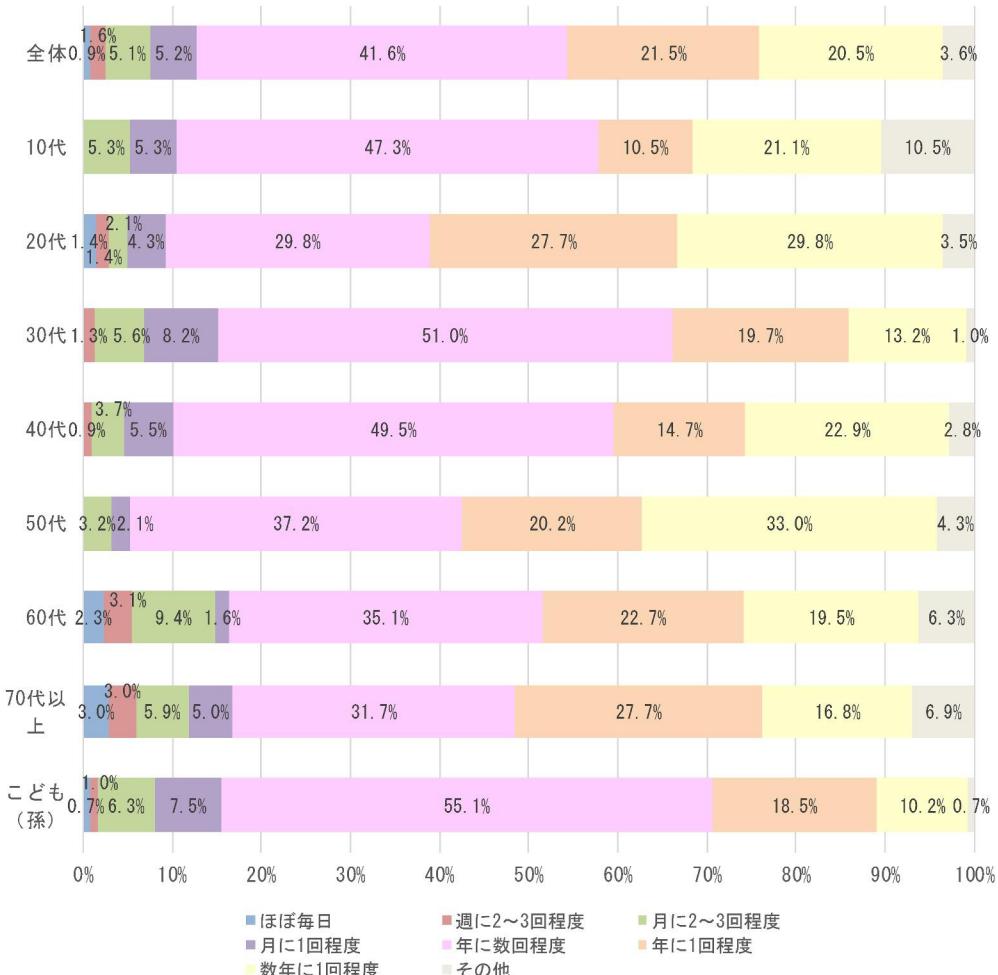
図表. 年代別の日岡山公園の利用目的



年に数回程度の来園頻度

- 来園頻度は、「年に数回程度」以下と回答された方が全体の83.6%を占めています。この結果は各年代で同様の傾向がみられ、50代では全体の約9割の方が「年に数回程度」以下の来園頻度です。

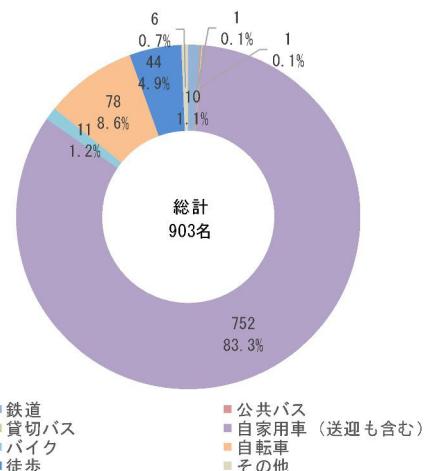
図表. 年代別の来園頻度



来園者の主な来園手段は自家用車

- 全体の83.3%が自家用車で来園されています。次いで自転車、徒歩と続き、公共交通である鉄道、バスによる来園者は全体の1.3%に留まります。

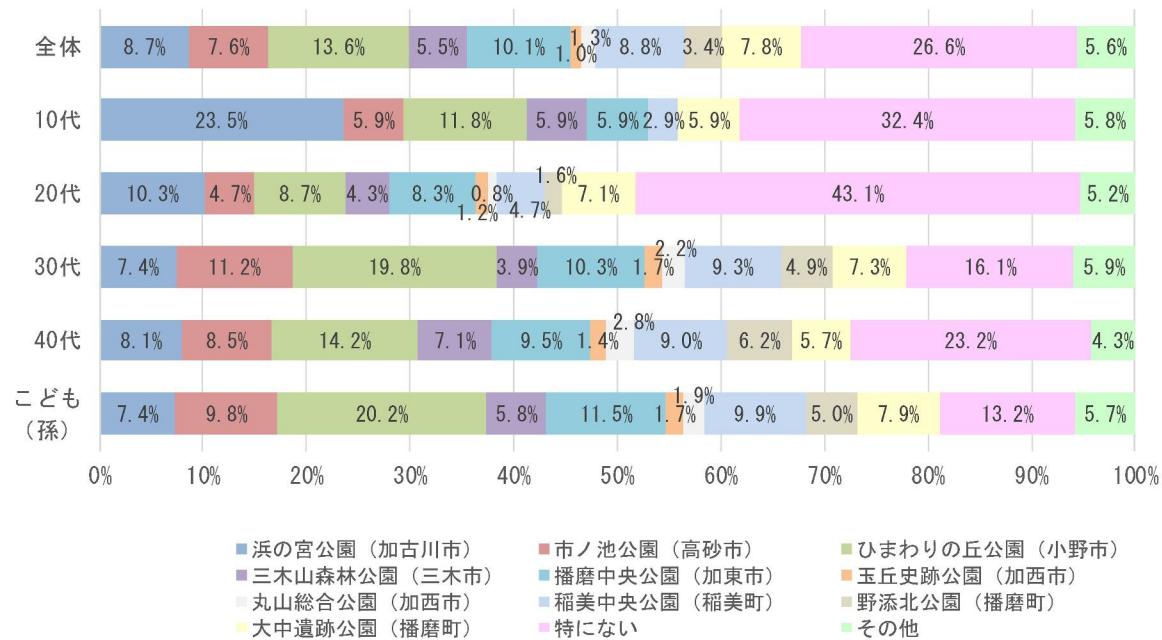
図表. 来園手段



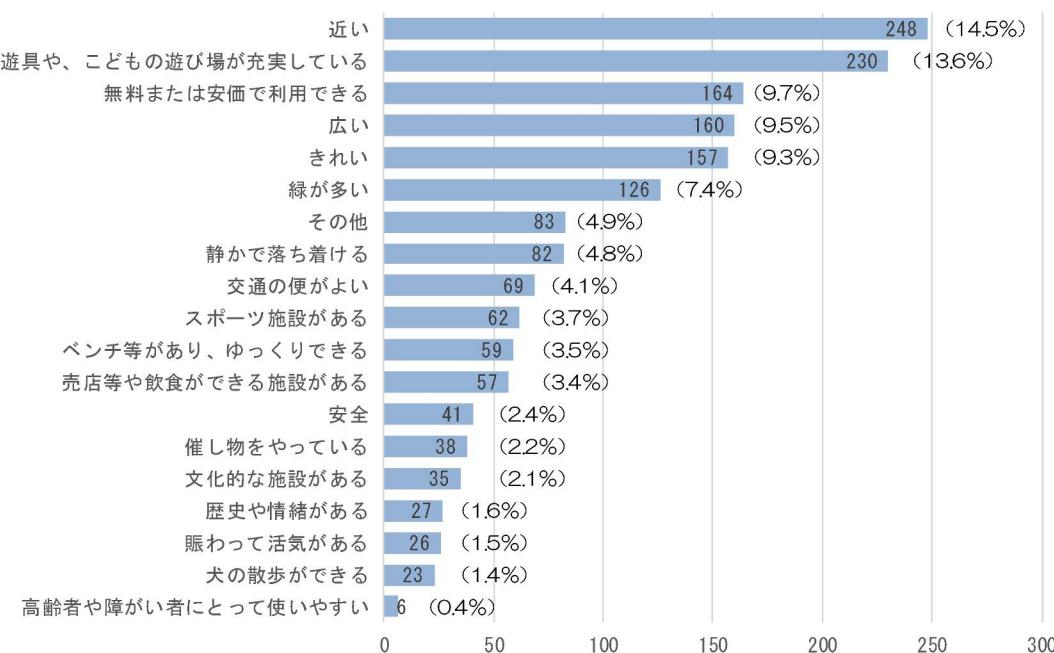
よく利用されている周辺都市の公園

- 「ひまわりの丘公園／小野市」が多く、全回答の 13.6%を占めており、次いで、「播磨中央公園／加東市」「稻美中央公園／稻美町」「浜の宮公園／加古川市」と続きます。年代別にみると、30 代では「ひまわりの丘公園」「市ノ池公園／高砂市」が高い割合を占めています。
- 利用する理由は、「近い」と「遊具や、子どもの遊び場が充実している」が高い割合を占めています。

図表. 日岡山公園以外でよく利用する周辺都市の公園



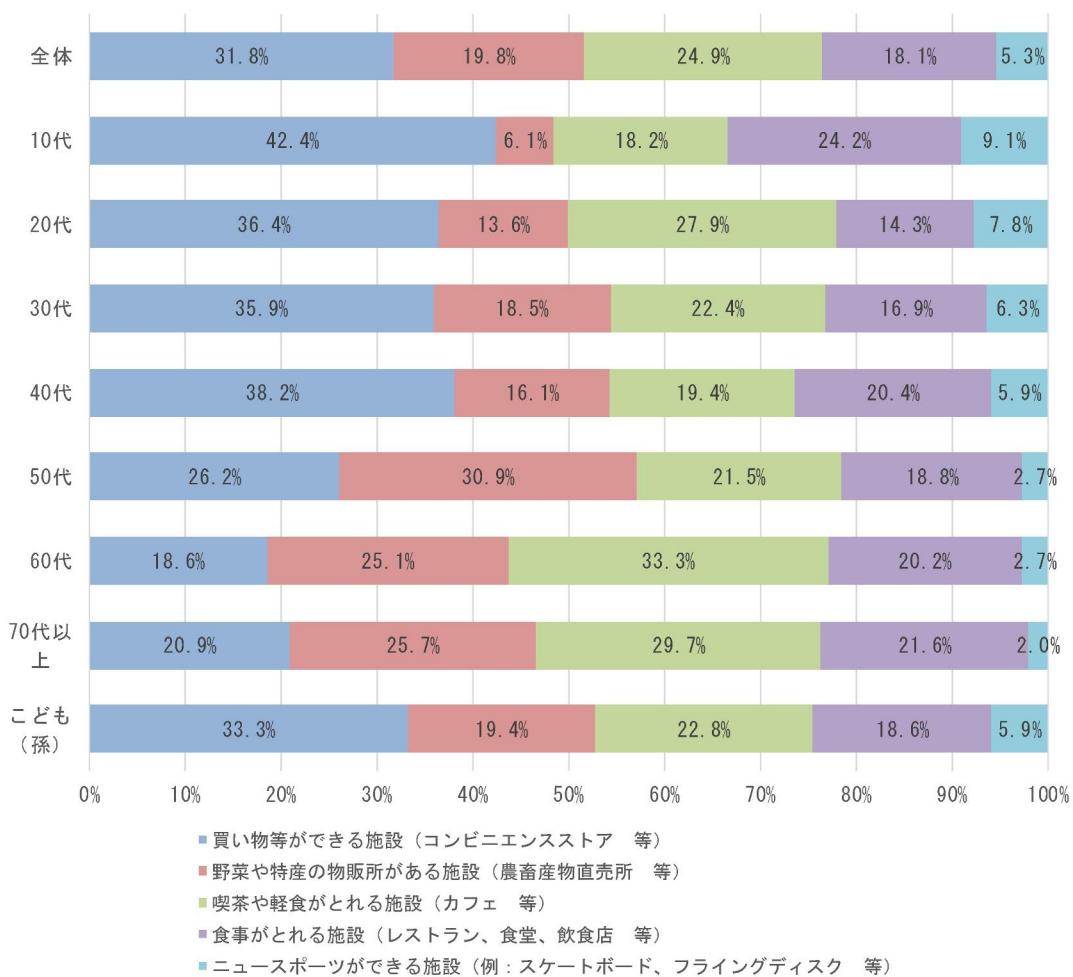
図表. 日岡山公園以外の公園を利用する理由



飲食や買い物等ができる複合施設を求める声が多い

- 10代～40代では「買い物等ができる施設（コンビニエンスストア等）」が最も高い割合を占めています。一方、50代～70代以上では「喫茶や軽食がとれる施設（カフェ等）」「野菜や特産の物販所がある施設（農畜産物直売所等）」が高い割合を占めています。
- 「ニュースポーツができる施設」を求める声は、全体に占める割合は低いものの、10代、20代の若者で主に見受けられます。

図表. 日岡山公園周辺に必要と感じる施設



1.2 周辺市町からの来訪者ニーズの把握

(1) 来訪者アンケート調査の概要

1) 目的

市外（明石市、高砂市、三木市、加西市、小野市、稻美町、播磨町）から日岡山公園や、その周辺に来訪される方の意見及びニーズ等を把握し、施策検討の基礎資料として活用することを目的に、来訪者アンケート調査を実施しました。

2) 調査時期

平成 28 年 11 月 9 日（水）～11 月 11 日（金）

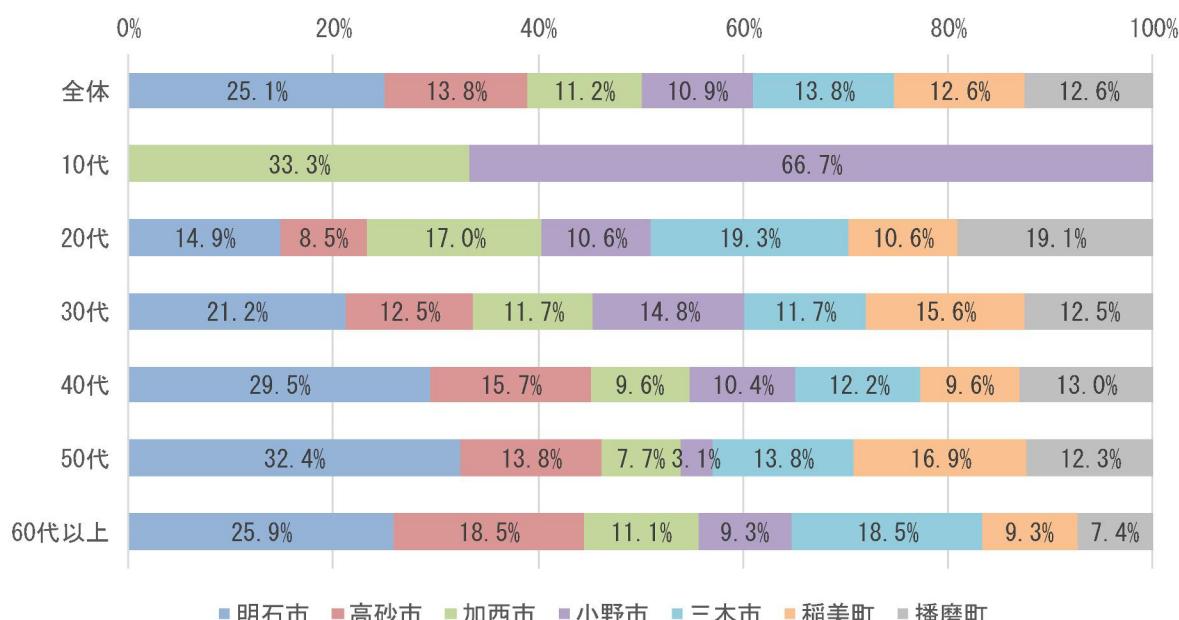
3) 目標回収数

来訪者アンケート調査における目標回収数は、400 と設定します。

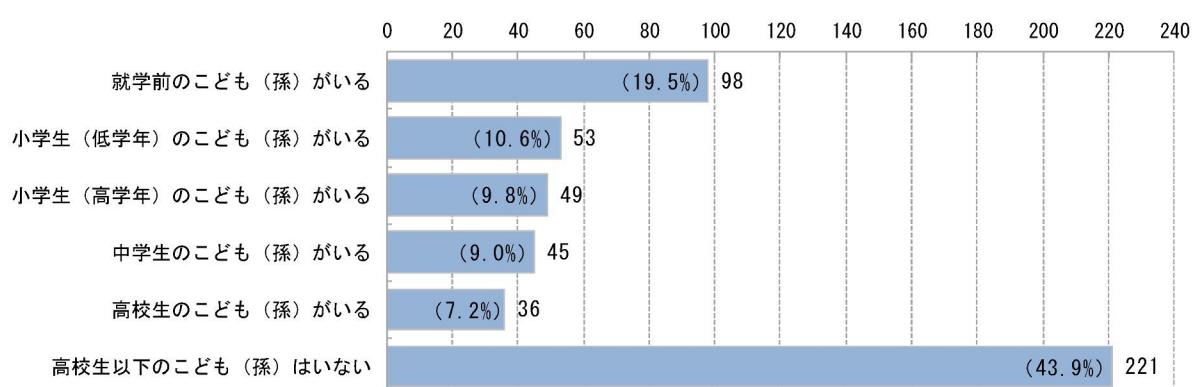
(2) 主な集計結果

1) 回答者の属性

図表. 居住地別の年代



図表. こども（孫）の有無

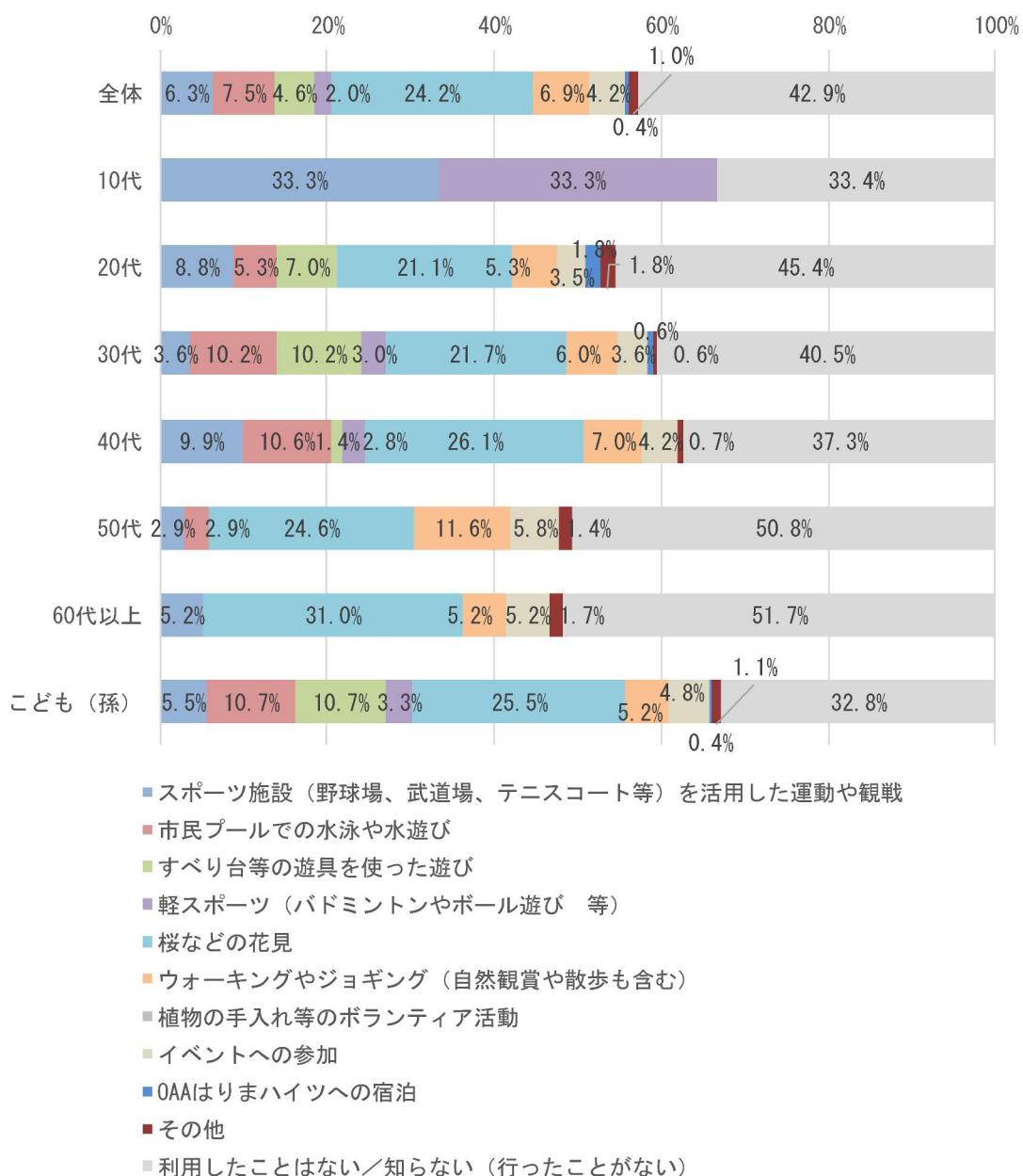


2) 日岡山公園

公園の認知度は低く、来園目的は花見が多い

- 「日岡山公園を利用したことはない／知らない（行ったことがない）」方が全体の42.9%を占めています。利用したことがある方の利用目的は、「桜などの花見」が最も多く、全体の24.2%を占めており、次いで、「市民プールでの水泳や水遊び（7.5%）」「ウォーキングやジョギング（自然観賞や散歩も含む）（6.9%）」「スポーツ施設を活用した運動や観戦（6.3%）」と続きます。
- 各年代で日岡山公園を利用する目的は、「桜などの花見」が高い割合を占めている中で、20代、30代の子育て世代では、「すべり台等の遊具を使った遊び」がそれぞれ7.0%、10.2%を占め、他の世代と比べて高い割合を示しています。

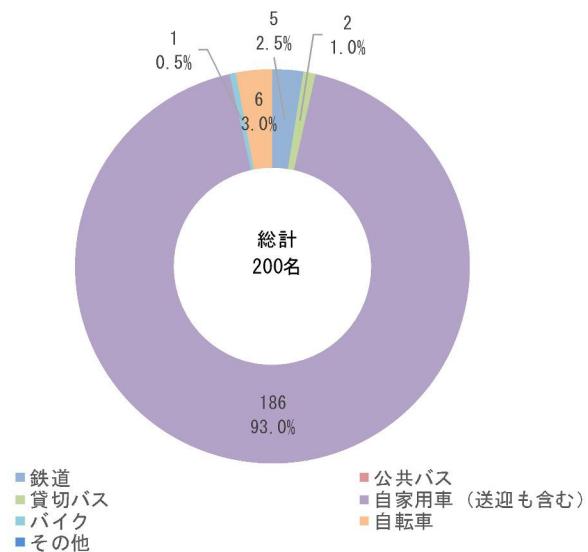
図表. 年代別の利用目的



主な来園手段は自家用車

- 来園手段は「自家用車（送迎も含む）」が最も高く、全体の93.0%を占めます。

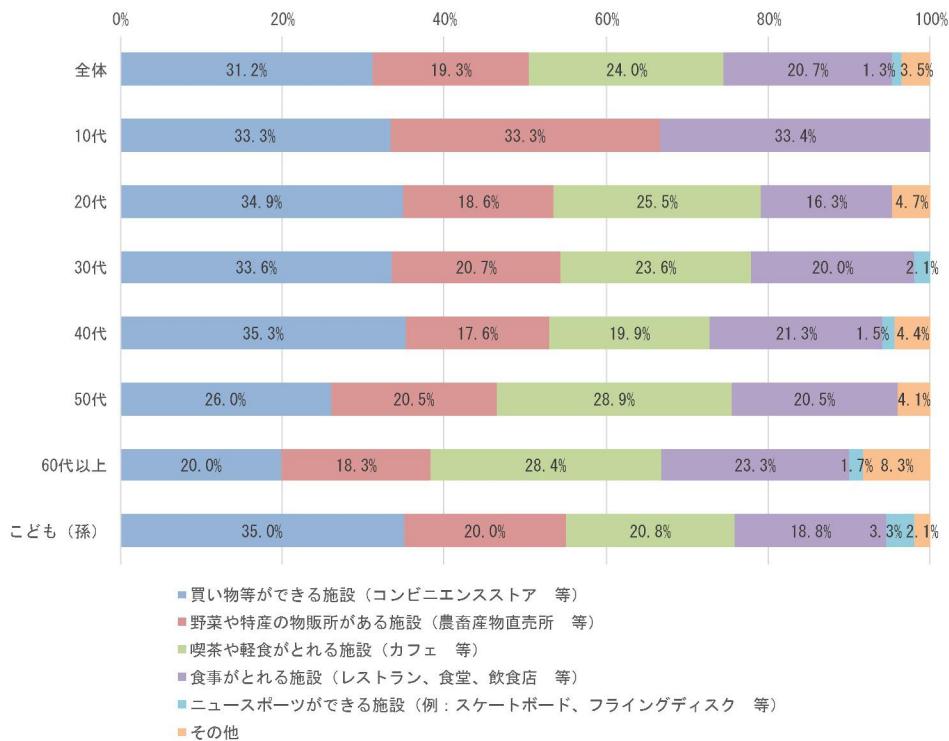
図表. 年代別の来園手段



飲食や買い物ができる複合施設を求める声が多い

- 小学生以下の子ども（孫）を持つ親は、買い物等ができる施設が必要と感じており、全体の35.0%を示しています。一方、50代以上の方は喫茶や飲食がとれる施設を必要と感じており、最も高い割合を占めています。

図表. 年代別の日岡山公園に必要と感じる施設



図表. 地域別の日岡山公園に必要と感じる施設

